

# 読書の小径

こみち

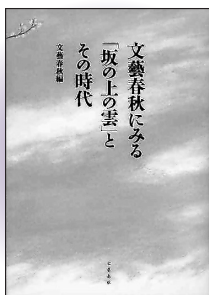
No.81

## 「坂の上の雲」を読む

司馬遼太郎の「坂の上の雲」が、NHKで3年間にわたり全3部13回という大型企画でドラマ化され、昨年末に第1部が放送されました。そこで今回は関連書を紹介します。

### 関川夏央『「坂の上の雲」と日本人』

日露戦争で勇名をはせた秋山好古・真之兄弟と俳句・短歌の革新者である正岡子規を軸に、明治日本の「青春」を描いた「坂の上の雲」。この作品が発表されたのが1968〜72年である点に着目し、そこに込められたメッセージを解き明かします。斬新な視点と平易な語り口で司馬文学の核心に迫る評論です。



市図書館 ☎ 1253

### 2月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

※ が休館日です

### 開館時間

火～金曜日……………10:00～19:00  
土・日曜日、祝・休…10:00～17:00

※図書館のご利用は無料です

成田龍一『司馬遼太郎の幕末・明治―「竜馬がゆく」と「坂の上の雲」を読む―』

「国民作家」司馬遼太郎作品の中でも特に人気の高い「竜馬がゆく」と「坂の上の雲」を、作品全体を通して丹念に読み込んでいきます。2作品で司馬が書いた、あるいは書かなかった幕末・明治を、小説の対象となつた時代・小説が書かれた時代・そしてわれわれが読んでいる今現在Ⅱ「三つの時間軸」で読む、初めての試みです。「いつたいに、司馬のような歴史小説家の作品は、ていねいに分析的に読まれることはまれです。」

司馬の歴史小説を、一つのテキストとして読んでみたいと思います。」（本文から）  
文藝春秋編『文藝春秋にみる「坂の上の雲」とその時代』。

司馬遼太郎、伊藤正徳、吉村昭、島田謹二……第一級の歴史エッセーから当事者の生々しい証言（「実戦中心の日露海戦勇士の話の会」など）、人物論や逸話集まで、文藝春秋誌上を飾った記事で読む日露戦争と明治日本。本書は「坂の上の雲」の副読本として興味深く読めることはもちろん、日露戦争そのものについて、もつと理解を深める史料集としても有益です。

2月

## 催し物だより

陶史の森 ネイチャーセンター ☎ 5144

### シイタケ教室

日時 2月7日(日)

午前9時〜11時30分

(雨天実施)

内容 ほだ木にシイタケ菌を打ち、育て方を学ぶ。

※事前に申し込みが必要。また、当日は金づちと軍手をお持ちください。なお、ほだ木は1家族1本です。



### バードウォッチング

日時 2月28日(日)

午前9時〜11時30分

(雨天中止)

内容 遊歩道を歩きながら

厳冬の野鳥観察

※参加は自由



★陶史の森の催しは、お一人でも参加できます。ただし、低学年児童は、親子でご参加ください。

カケス(カラス科)  
がっちりしたくちばし。青い雨  
おい羽で黒い尾。翼と腰に白の  
マーク。「ジャーツ、ジェー」と  
いうしわがれ声で鳴く。

お願い 陶史の森は、動植物を保護しています。山野草やミズゴケなどを絶対に採らないでください。また、陶史の森およびせせらぎ公園へのペット連れでの立ち入りはご遠慮ください。